

平成30年9月7日
中部地方整備局

平成30年度予備費を充当して早期に対策及び復旧を行います

中部地方整備局では、平成30年7月豪雨により木曾川、長良川、揖斐川において河川内に堆積した流木等を撤去するとともに、漏水被害に対しては漏水による堤防決壊を防止する対策を実施し、小洪ダムにおいては被災した護岸の復旧を実施します。

また、中部縦貫自動車道、国道41号、国道156号において発生した土砂流出に対しては、斜面崩壊対策等を実施します。

※各箇所での対策の内容については、別紙をご参照下さい。

※なお、本発表は、以下の国土交通省記者発表「平成30年度国土交通省関係予備費の使用について」を受け行ったものです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000163.html

・平成30年度国土交通省関係予備費使用の概要(9月7日閣議決定)

<http://www.mlit.go.jp/common/001252679.pdf>

○配布先

中部地方整備局記者クラブ

○問合せ先

国土交通省中部地方整備局

<河川関係>	河川工事課長	小池 仁	電話	052-953-8153
<ダム関係>	河川管理課長	竹内 宏	電話	052-953-8155
<道路関係>	道路管理課長	内藤 正仁	電話	052-953-8176

平成30年7月豪雨にかかると 災害復旧事業

中部縦貫自動車道 1箇所 63百万円

国道41号 12箇所 1730百万円

国道156号 1箇所 35百万円

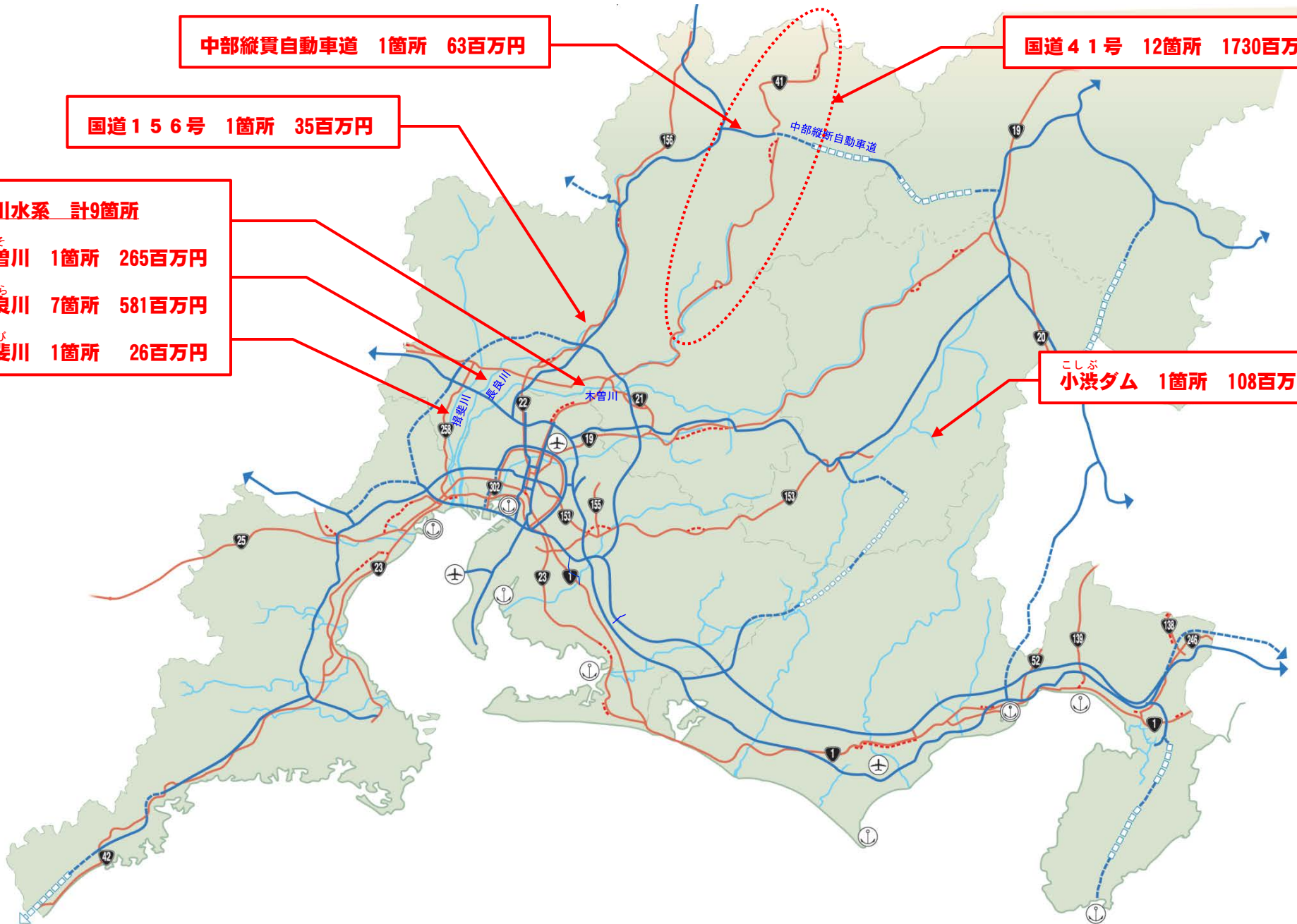
きそ
木曾川水系 計9箇所

きそ
木曾川 1箇所 265百万円

ながら
長良川 7箇所 581百万円

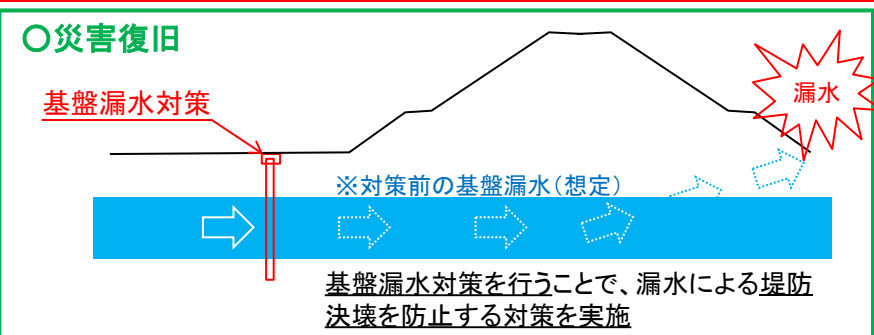
いび
揖斐川 1箇所 26百万円

こしぶ
小浜ダム 1箇所 108百万円



木曽川水系 長良川 災害復旧事業(漏水)

- 木曽川水系長良川では、台風7号及び梅雨前線の影響により、7月4日から大雨となり、長良川本川の岐阜県岐阜市内において5箇所で基盤漏水が発生。
- 漏水箇所では、地元水防団による水防工法を実施し、破堤の被害を免れた。
- 今後、直轄河川災害復旧事業により基盤漏水対策を行い、漏水による堤防決壊を防止する対策を実施。



木曽川水系 木曽川他2河川 災害復旧事業(流木除去)

■^{きそ}木曽川水系木曽川、^{ながら}長良川、^{いび}揖斐川では、台風7号及び梅雨前線の影響により、7月4日から大雨となり、上流部での山腹崩壊等の影響から、大量の流木等が河川内に堆積した。

■直轄河川災害復旧事業により堆積した流木等の撤去を行い、河道断面の確保や河川管理施設への影響回避を図る対策を実施。

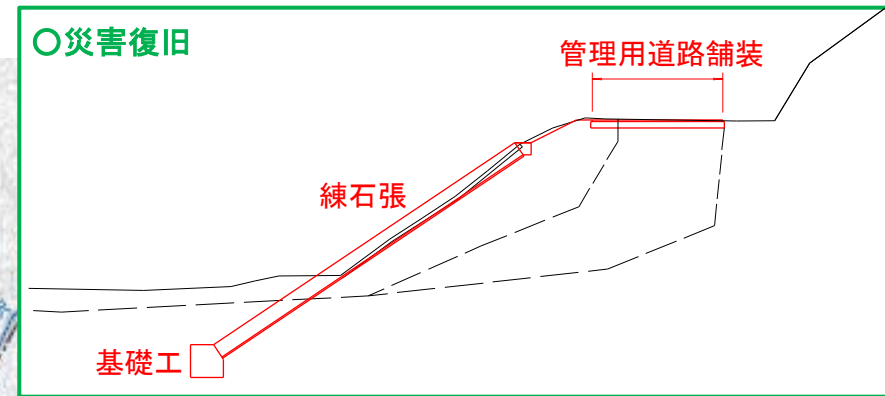
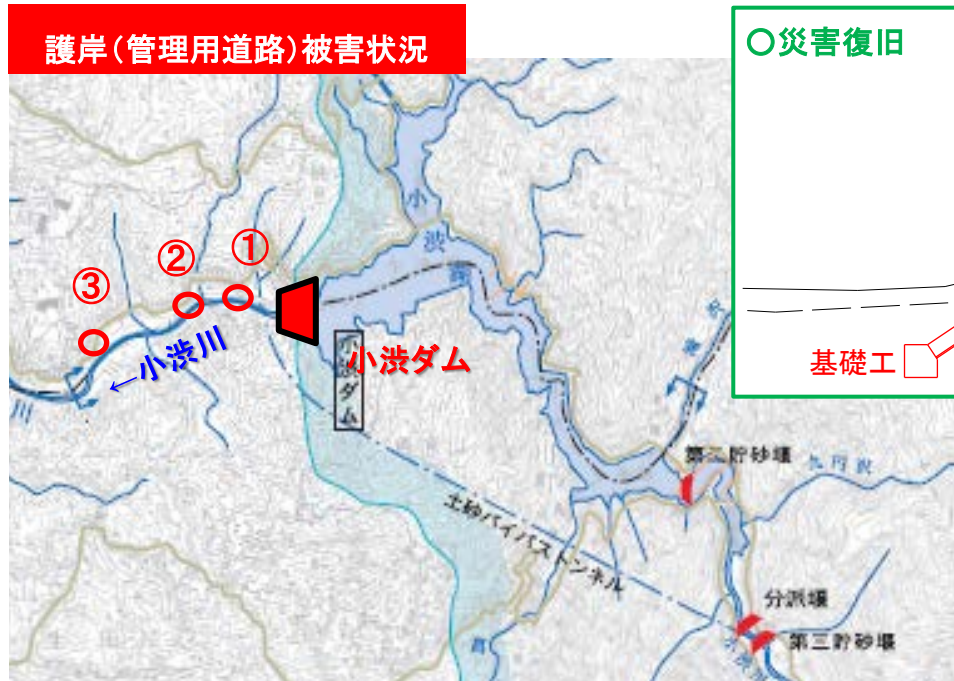
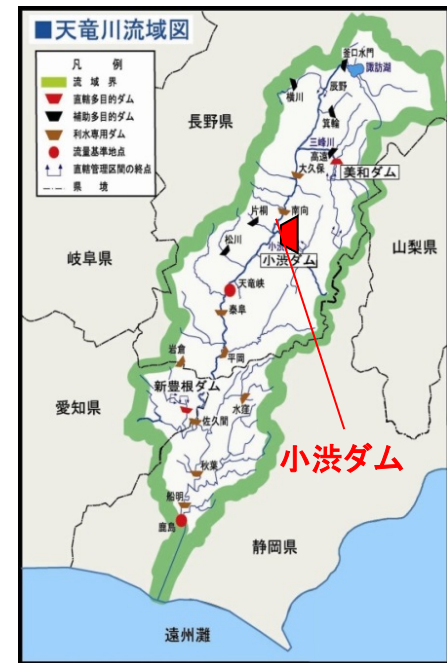


小渋ダム 災害復旧事業

こしぶ

■小渋ダム流域では、7月4日の降り始めからの降水量が流域平均で324mmを記録(7月7日時点)し、ダム下流の小渋川において、護岸(管理用道路)3箇所が被災

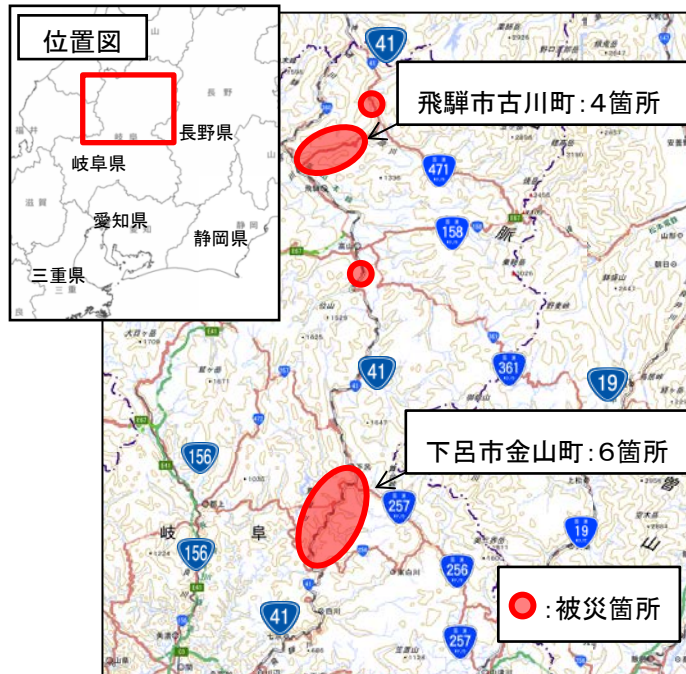
■今後、直轄河川災害復旧事業により護岸(管理用道路)の復旧を実施。



国道41号 災害復旧事業

- 国道41号では、7月豪雨災害により、管内の12箇所で土砂流出等が発生。
- 直轄道路災害復旧事業により、土砂流出防止のための斜面崩壊対策等を実施。

位置図



ひだし ふるかわちよう すごう
岐阜県飛騨市古川町数河



応急復旧状況



げろし かなやまちよう みつづち
岐阜県下呂市金山町三ツ泷



応急復旧状況



国道156号 災害復旧事業

- 国道156号では、7月豪雨災害により、管内の1箇所で土砂流出が発生。
- 直轄道路災害復旧事業により、土砂流出防止のための斜面崩壊対策を実施。

位置図



みのし そだい
岐阜県美濃市曾代

対岸からの
遠景



崩壊源頭部



● : 被災箇所



応急復旧状況

